

やまなし読書活動促進事業

図書館司書が選ぶ

こんな時、この一冊



小説をちょっと読んでみたい人に…



『隣りの女』

向田邦子／著 文春文庫



かるーく小説を楽しんでみたい方に、かるーくお薦めします。この文庫本には5作品が含まれていますが、特に「春が来た」がよい。向田邦子の小説の中で一番よいものです。なにげない日常の中に、春がやって来ること、春を求めることを訴えます。

(山梨県立図書館館長 阿刀田高)

元気を取り戻す時に



『こどもたちへ
まどさんからの手紙』
まど・みちお／著 ささめやゆき／絵
講談社

まど・みちおさんが、84歳の時にふるさとの小学生に送った手紙が一冊の絵本になりました。未来のある子どもたちに向けての大切なメッセージが、力強く、やさしい言葉で書かれています。そして大人の私たちにも日々の小さな努力が、大きな道へとつながることを伝えてくれる、まどさんの大切な命のメッセージです。(甲府市立図書館)

夜空を見上げた時に



『天動説の絵本
てんがうごいていたころのはなし』
安野光雅／文・絵 福音館書店

まだ、月や星が地球の周りを回っていると信じられていた頃をやさしく描いた歴史と天文学の絵本です。今では常識とされる事も昔は非常識とされ、それが罪となる時代に、真実を追い求め新発見をしていった人々がいました。教科書だけでは分からない彼らの想いや“地球は丸くて動く”ことの不思議さを考えずにはられません。(都留市立図書館)

日々に少しだけ

退屈を感じた時に



『ムーミンを生んだ芸術家
トーヴェ・ヤンソン』
富原真弓／著 芸術新潮編集部／編
新潮社

“ムーミン”本を開いたことはなくても、誰もが一度はそのどこか愛嬌のある顔を見たことがあるでしょう。ムーミンを生んだトーヴェ・ヤンソンの足跡、作品について豊富に紹介されています。挿絵画家、作家、画家など多彩な顔を持つ芸術家の生涯を覗き、刺激がもらえる本。飾っておくだけでも素敵な、おしゃれな一冊です。(山梨市立図書館)

小学生の頃を

懐かしみたい時に



『木かげの秘密』
浅野竜／作 杉田比呂美／絵
学研教育出版

私は小学六年生の時、飼育係をしていた。学校の校庭にある、動物小屋で飼っているうさぎにエサをやったり、掃除をしたりすることが主な仕事である。この本に登場する葉月と中井君は同じ生き物係なのに喋ったことはありません。クラスで飼っていた金魚が病気になったことをきっかけに交流がはじまっていきますが…。(大月市立図書館)

気分爽快になりたい時に



『DIVE!!』
森絵都／作 霜月かよ子／絵
講談社

飛び込みを始めて約5年の知季は、中学2年。女性コーチに見出され、飛び込みの世界にのめりこんでいきます。同じダイビングクラブの要一、飛沫(しぶき)とともに、クラブ存続をかけ、オリンピックを目指すこととなります。そして、飛び込みに夢中だった知季は、弟に彼女を取られ…。飛び込みも恋愛も次が気になり、どんどん引き込まれていきます。(甲斐市立図書館)

心も体も

あたたかくなりたい時に



『とっておきのカレー』
きたじまこうき／作・絵 絵本塾出版

小さな山小屋のおじさんは、カレーを作るのが大好き。しかも、とってもおいしいカレーです。どうしたらそんなにおいしいカレーを作ることができるのでしょうか。おじさんは泊まりに来た子ども達には、カレーを食べに来た珍しいお客さんの話をしますが、実はその話の中においしさの秘密が隠されているのですが…。とっても心が温かくなるお話です。(北中市立図書館)

子どもと一緒に

おやつ作りを楽しみたい時に



『楽しいね！
こどもに作ってあげたい食育おやつ』
長野女子短期大学食育研究会／著
ほおずき書籍

私の娘が小学三年生のときに、何か父親と一緒に楽しめるものはないかと考えていたとき出会った本です。料理に不慣れな私と、おやつ作りに興味があった娘が、本を参考におやつ作りにチャレンジした思い出の一冊です。簡単でおいしくできるレシピだったので、今では娘の得意メニューとなっています。(上野原市立図書館)

涼しくなりたい時に



『いるのいないの』
京極夏彦／作 町田尚子／絵
東雅夫／編 岩崎書店

実家は昔ながらの農家の一軒家。お盆で親戚一同が集まった時、賑わう大人たちのすみっこで「あつーい！」とだれている子どもたちに、この絵本を読み聞かせ。「ほら、うちの天井にも…いるよ」「キャー」ふと気づいたら子どもも大人も大注目。なんたって実家とそっくりな家が舞台の怪談です。霧気満点。結局、大人が一番涼しくなりました。(甲州市立図書館)

ちょっと粋な

おもてなしをしたい時に



『おうちで楽しむにほんのおもてなし』
広田千悦子／著 技術評論社

日本ならではのおもてなし、皆さんで楽しみませんか？日本人なら知っておきたい料理の盛り付け方や庭のお手入れ、訪問時に喜ばれる手みやげのヒントまで！かわいいイラスト付きで分かりやすく紹介してくれます。日々の暮らしの中にひそんでいる、ちょっとした「和のこころ」に気付かせてくれる一冊です。(中央市立図書館)

毎日、子育てを
がんばっているお母さんに



『今日』
伊藤比呂美／訳 下田昌克／画
福音館書店

子育てで、一日中子どもと過ごす中湧いてくるいろいろな感情を、やさしい画と文が受け止め、心を前向きにしてくれます。言葉は短いですが、思わず、そうそうって共感できるし、読み終わったあとはこれだっただって思える。Let's ポジティブシンキング！！疲れた心を軽くする1冊です。(身延町立図書館)

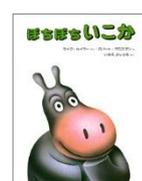
もう一度学び直したい…。
そんなふうに思った時に



『ちょっとした勉強のコツ』
外山滋比古／著 PHP 研究所

社会人になって仕事を任せられ、ふとした時に「あの時もっと学んでおくべきだった。」「もう一度学び直したい。」など思った方におすすめしたい一冊。本書は、学習するための時間の検出や効率よく勉強するコツ、成果を上げるヒントをわかりやすくアドバイス。毎日の生活の中に勉強を取り入れる外山式ノウハウを楽しいエッセイと共に紹介する。(南部町立図書館)

頭の中がいっぱいに
なってしまった時に



『ぼちぼちいか』
マイク・セイラー／作
ロバート・グロスマン／絵
いまえよしとも／訳
偕成社

やりたいことはたくさん。でも、どうしたらよいかわからなくなって、何もできない。そんなとき、ひらいて笑って、リセットできる本です。深呼吸して、「ぼちぼちいか」。(昭和町立図書館)

前に進みたいと思った時に



『石を抱くエイリアン』
濱野京子／著 米田絵理／絵
偕成社

家族や友達と過ごす毎日、いつもと変わらぬ生活。そんな当たり前だと思っていた毎日が、突然一変してしまう時がある。物語はまだ記憶に新しい東日本大震災をとりあげ、15歳の中学生が悲しみや困難をどのように受け入れ、乗り越えて行くのかを描いています。中学生の悲しみや葛藤、素直な気持ちが伝わってくる一冊。(忍野村立おしの図書館)

自然災害に

地球をうらみたくなった時に



『地球不思議の旅
大自然が生んだ絶景』
パイインターナショナル

度重なる自然災害。なぜ地球は私たちに悲しみと不幸を与えるのか…と、つい恨みごとのひとつも言いたくなった時、いや私たちはこの地球という大自然の中で生かされている存在なのだということを、言葉では無く風景写真で感じ取れる一冊です。美しい星地球と共に生きていくために図書館にできることがあります(山中湖情報創造館)

リフレッシュしたい気分
の時に



『食う寝る遊ぶ 小屋暮らし』
中村好文／著
PHPエディタース・グループ

仕事をして家に帰ってまた仕事に…。そんな毎日を過ごしてしまっているが、この本では、えっそんなことが出来るの？ 楽しい、楽しそう…いいなーと思ってしまう。エネルギーを自給自足する小屋で暮らしてみても、不便で不自由な暮らしが人間にもたらずもの発見!! 時々こんな生活ができればいいな。(富士河口湖生涯学習館)

誰かとデートしたい時に



『おしまいのデート』
瀬尾まいこ／著 集英社

問題を起こした男子高校生と定年間近の教師とのただ玉子丼を食べるだけのデート。それは、卒業しても続いていたが、思いがけないおしまいの時がやってくる。大切な人と約束をして、食事をして、言葉を交わす。かけがえのない時間が静かに流れていく。恋人同士ではない、いろんな形のデートの話5編を集めた短編集。(山梨県立図書館)

諦めたくない時に



『凍』
沢木耕太郎／著 新潮社

最高のクライミングを求めて、美しいラインを描くヒマラヤ・ギャチュンカン北壁をたった二人で登る山野井泰史と妙子夫妻。ほぼ垂直に切り立つその壁は、手がかりが少ない雪崩の巣だった。極寒の中、次々と押し寄せる困難、絶望、そして喪失。信じる心と諦めない気持ちが運と読者の心を引き寄せる、「凍」と「闇」の記録。(山梨県立図書館)

心がささくれだった時に



『月の砂漠をさばさばと』
北村薫／著 おーなり由子／絵
新潮文庫

何をやっても上手くいかなくて、イライラしてしまう時には、この本を開くことにしている。暖かな空気に充ちたこの本の中で、さきちゃんのお母さんが歌う「月の砂漠を さばさばと さばのみそ煮が ゆきました」このフレーズにクスッと笑えたら、もう大丈夫。トゲトゲした心に、じんわりとやさしさが戻ってくる。(山梨県立図書館)

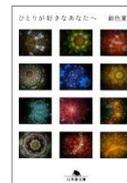
心がかたくなった時に



『くまって、いいにおい』
ゆもとかずみ／文
ほりかわりまこ／絵
徳間書店

周りから頼りにされるのは嬉しいけれど、いつも元気で応えられるとは限りません。相手を思いやれる気持ちは素敵だけれど、人が良すぎるのもホドホドに。近ごろ頑張らずぎて「かったるい…」と溜め息が出てしまうなら、この本の「いいにおい」が、そんなかったるくなった心を癒やしてくれることでしょう。(山梨県立図書館)

心を休ませたい時に



『ひとりが好きなあなたへ』
銀色夏生／著 幻冬舎文庫

著者手作りの万華鏡の写真に彩られるのは、独白のような言葉たち。ひとりであるということ。人といるということ。どちらも好きで、嫌いで、だから時々かなしくなる。気持ちが疲れているかな、と感じたらそっと開いてみてください。万華鏡の美しさと、どこか寂しくもやさしい詩にふれるうちに、ふ、と息がつけます。(山梨県立図書館)

図書館職員が選ぶ こんな時、この一冊

平成 26 年 11 月発行

編集 山梨県立図書館 総務企画課企画振興担当

発行 山梨県立図書館

〒400-0024 山梨県甲府市北口2-8-1

TEL : 055-255-1040 FAX : 055-255-1042

URL : <http://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

Eメール : shinko@lib.pref.yamanashi.jp

